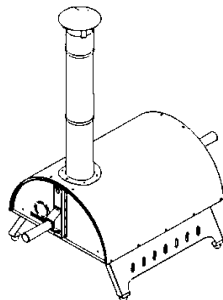


# HONMA

## HONMA ポータブルピザオーブン 取扱説明書

### HPP-400





このたびはHONMA ポータブルピザオーブン HPP-400(以下、本製品)をご購入いただきまして誠にありがとうございます。  
ご使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくご使用ください。  
取扱説明書は大切に保管してください。

## 1. 使用上の注意

> 当製品を安全にご使用いただくため下記の事項を守ってください。>

●注意事項は次の2つに分類しています。

 <b>警告</b>	このマークは、取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重症を負う可能性や火災発生の可能性があることを示します。
 <b>注意</b>	このマークは、取り扱いを誤った場合、使用者がけが、やけどを負う可能性や物的損害の可能性があることを示します。

●本文中のマークは次の意味を表し、お守りいただく内容を区分しています。



このマークは絶対に行ってはいけないことを表しています。



このマークは必ず守っていただきたいことを表しています。



### 警告

本製品に燃えやすいものを近づけないでください。  
スプレー缶やカセットコンロ用ボンベ等を近くに置かないでください。熱で缶の圧力が上がり爆発する危険性があります。

着火や燃料としてガソリン、灯油、ガス、アルコール等を使用しないでください。

ペレット、薪、炭以外の燃料は絶対に使用しないでください。

燃料はよく乾燥したものをご使用ください。

爆発するおそれのあるものや、有毒性ガスが発生するものは絶対に燃やさないでください。



防錆剤や接着剤を使用した集成材、型枠ベニヤ等や、ビニール等を燃やすと悪臭が発生したり本製品が劣化し、傷む原因となりますので燃やさないでください。

本製品は屋外用です。

室内、テント内など密閉された空間で使用しないでください。

本製品を改造、分解、補修しないでください。

本製品に破損や劣化が認められた場合は使用しないでください。

唐揚げなどの油を大量に使う料理に使用しないでください。

油に引火して火災が発生する可能性があります。



## 注意

小さいお子様だけの使用はおやめください。必ず大人が付き添って使用し、大人はお子様から目を離さないようにしてください。

気象条件の悪い日、特に強風時は使用しないでください。  
火の粉が飛んだり、本製品が倒れて火災が発生する可能性があります。

本製品の使用中は絶対にその場所を離れないでください。  
予想しない事態が発生する可能性があります。



本製品はウッドデッキ上や草地、アスファルト等、燃えたり熱で変色・変質する可能性がある場所で使用しないでください。そのような場所で使用する場合は、ストーブ台等で有効に遮熱し、地面の温度を必ず45℃以下にしてください。

使用中に本製品を持ち上げたり、移動しないでください。  
移動は完全に消火・冷却したあとに行ってください。使用中は本製品を揺らさないでください。

本製品は水平・強固な地面で使用してください。地面が不安定・軟弱な場合はストーブ台等を使用してピザ窯本体を水平にし、容易に動かないようにしてください。

高地等の気圧が低い環境では使用しないでください。  
煙の逆流、燃焼不良等の不具合が起こる可能性があります。

使用中に本製品(本体、煙突、燃料箱等)に触れてやけどやけがをしないようご注意ください。

本製品の周りでお子様やペットを遊ばせないようご注意ください。  
本製品に触れてやけどやけがをしたり、ぶつかった衝撃で本製品が転倒するおそれがあります。

万が一に備え、使用前に消火に必要な水の入ったバケツ等を準備してください。

使用中は本製品が熱くなりますので、厚手の革手袋等をご使用ください。  
ゴム、ナイロン、化学繊維の手袋は危険ですので使用しないでください。

使用中、扉を開くと背面から煙が出てきます。このとき、炉内に強い風が吹き込むと、逆流して燃料箱周辺から火炎が漏れ出る場合があります。すぐに扉を閉めて火炎をおさめ、使用環境を整えてください。



使用中、煙突から火炎が漏れ出る場合があります。燃える可能性のあるものを近づけないようにするとともに、やけどなどしないようご注意ください。

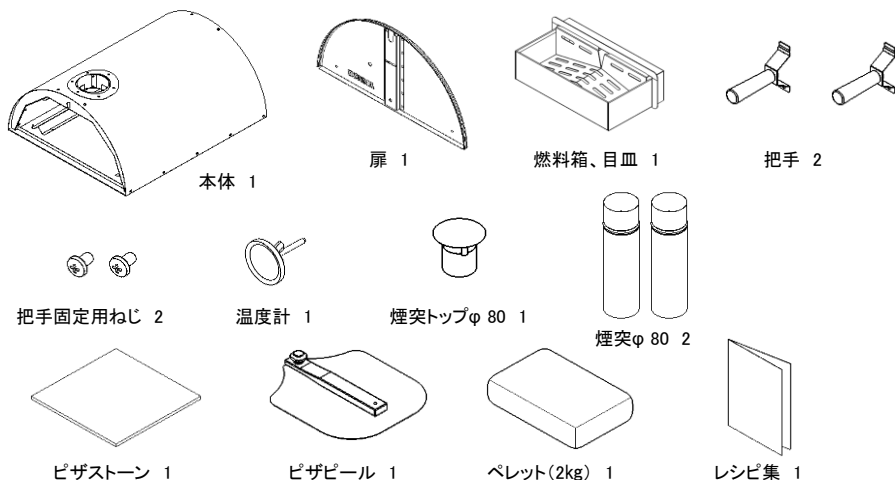
使用後は炉内や煙突に堆積したススを掃除してください。掃除しないと食品にススが附着しやすくなります。また、燃焼に不具合が発生する他、火の粉が飛散し火災のおそれがあります。

使用後は燃料が完全に消火し、本体、煙突類及びピザストーンが完全に冷めたことを確認してから後始末してください。  
本体から取り出した灰は地面に捨てずに、金属製のバケツ等に入れて密閉保管してください。

本製品に多量の水を掛けないでください。急激に冷却することで本製品の寿命が短くなります。特にピザストーンは急激に冷却すると破損の原因になります。

ピザストーンは浸水させたり、多量の水をかけないでください。  
ピザストーン内部に水分が残っていると、加熱の際ピザストーンが爆ぜる場合があります。  
また、ピザストーンは脱色する場合がありますが、使用には支障ありません。

## 2. セット内容



※別途ご用意いただきたいもの

組立て用手袋、ブラストドライバー#3、ペレット用スコップ、火ばさみ、着火剤、厚手の皮手袋

## 3. 仕様

### 【製品サイズ】

W471xD783xH930mm

### 【収納時サイズ】

W404xD517xH228mm

### 【重量】

梱包総重量 17.3kg

### 【材質】

本 体…鉄、ステンレスSUS430

煙 突…ステンレスSUS430

ピザストーン…コージライト

ピザピール…アルミニウム、木

### 【煙突径】

φ 80mm

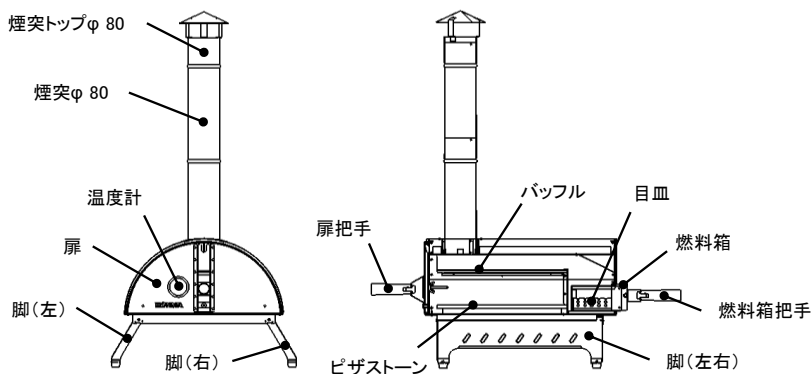
### 【使用燃料】

ペレット、薪、炭

### 【生産国】

日本

## 4. 各部の名称



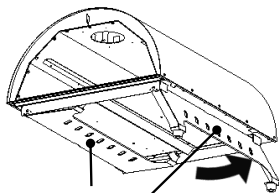
## 5. 組み立て方法



本製品には鋭利な部分がありますので、手袋などを着用して手を保護して作業してください。

※ 本製品は組み立てにプラスドライバー #3を使用します。あらかじめご用意ください。

① 本体から全ての付属品を取り出し、本体底部に折りたたまれていた左右の脚を開き、しっかりと立たせます。

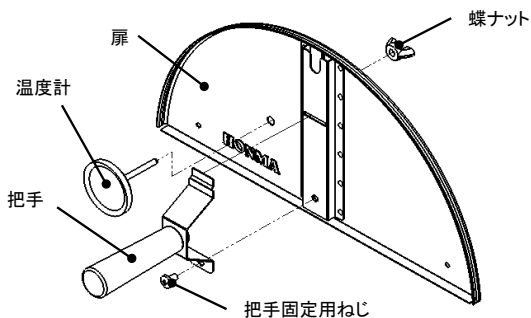


脚(左右)

② 扉に温度計、把手を取り付けます。

②-1 扉に温度計を差し込み、温度計の表示が見やすいように合わせ、裏側から付属の蝶ネットで固定します。

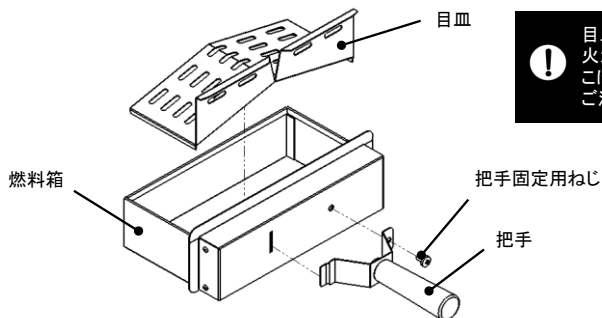
②-2 扉の長穴に把手を差し込み、把手固定用ねじをプラスドライバーで回して固定します。



③ 燃料箱に把手を取り付け、目皿を入れます。

③-1 燃料箱の長穴に把手を差し込み、把手固定用ねじをプラスドライバーで回して固定します。

③-2 目皿の向きに注意して、燃料箱に目皿を上から入れます。



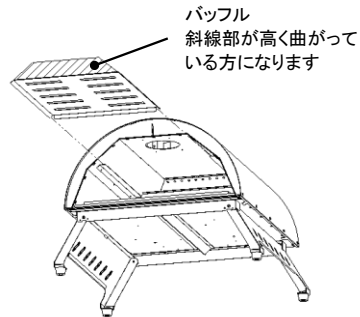
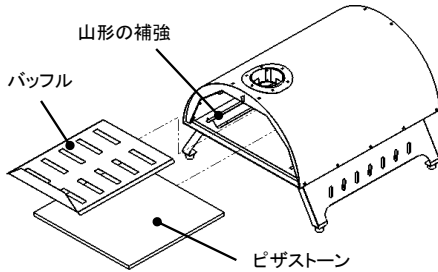
目皿を誤った方向で入れると、火がついた燃料が燃料箱からこぼれるおそれがありますのでご注意ください。

④本体にピザストーンとバップルを入れます。

④-1 ピザストーンを本体炉内の床、山形の補強の上に乗せます。奥に当たるまで深く入れてください。ピザストーンは正方形で表裏はありません。

**!** ピザストーンは衝撃を加えると割れる可能性があります。そっと入れてください。

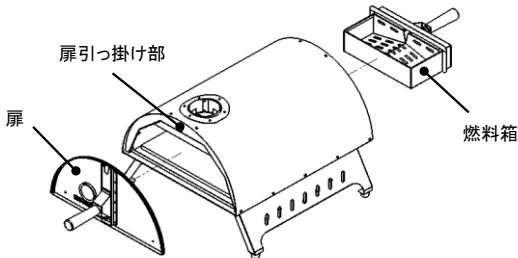
④-2 バップルを炉内天井左右のレールに乗せ、奥に当たるまで深く入れてください。下図のように、高く曲がっている方が手前になります。



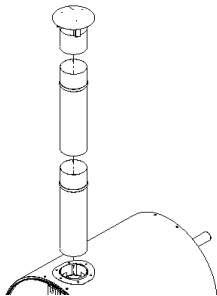
⑤本体に組み立てた扉と燃料箱を組み込みます。

⑤-1 燃料箱を背面の穴に奥まで差し込みます。

⑤-2 扉を取り付けます。下図の示す箇所、本体から扉を引っ掛ける部分が出ていますので、引っ掛け部を扉上部の長穴に差し込み、扉が本体にぴったりくっつくよう取り付けます。



⑥本体に煙突2本と煙突トップを下図のように取り付けます。



煙突、煙突トップは下の筒にかぶせて、しっかり差し込みます。

## 6. ご使用方法



本製品の初回使用時、本体、煙突に塗られている耐熱塗料が焼けてにおい・煙が出ます。ご使用前に慣らし炊きを行ってください。におい・煙はしばらくするとおさまります。

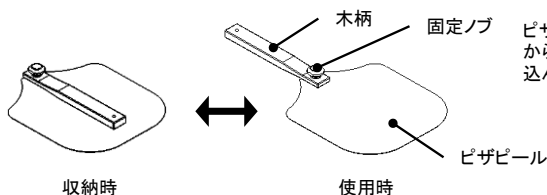
※ 本製品は、着火の際に着火剤が必要になります。あらかじめご用意ください。

①ご使用いただく前に下記チェック事項をご確認ください。

- 本製品はぐらつきなく平らな場所に設置されている。
- 本製品の周囲に溶けたり燃えたり爆発するおそれがあるものを置いていない。
- 本体、ピザストーン、パッフル、扉、燃料箱、煙突は正しく取り付けられている。
- 煙突のトップ、周囲3m以内に木など燃えやすいもの・障害物がない。
- 本体炉内、煙突にすずはたまっていない。

②ピザピールは青いビニールを剥がし、中性洗剤と軟らかいスポンジで洗ってください。

ピザストーンは、かたく絞った濡れ布巾で表面を拭いてください。



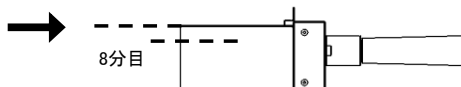
ピザピールの組立ては、固定ノブを回して外し、木柄から出ている回り止めの凸をピザピールの穴に差し込んで固定ノブで固定します。

③本製品から燃料箱を取り出し、ペレットの場合は300g、薪や炭の場合は燃料箱の8分目程度に入れます。

燃料箱を超えて山にすると、燃料箱が本体に入らなくなりますので調節してください。

薪や炭は大きいものは入りません。適当な大きさに加工してご使用ください。

燃料は矢印点線以上に入れないでください。



④燃料箱を本体に1/3程入れ、着火剤に点火してください。

着火剤は燃料を避けて目皿の上に置くと、目皿からの空気の流れがよくなり燃焼が促進されます。

⑤着火後、ときおり燃料箱を引き出して燃料の状態をご確認ください。火炎が弱くなってきたら燃料を追加します。

1回に追加する量はペレットの場合150g。薪、炭の場合は燃料箱の8分目程度にします。

火炎が途切れないよう燃料を追加することで、温度が上がります。

ペレットの場合、火のついたペレットに追加する燃料をかぶせると、焦って煙が出やすくなります。

前の燃料が燃え尽きた目皿の上に燃料を入れることをおすすめします。



燃料を追加するときは、燃えない素材のスコップ、火ばさみなどを使用してやけどに注意してください。

⑥予熱が完了するまで、熱が逃げないよう扉を閉めてください。扉がしっかり閉まっていることで温度が上がります。

ときおり扉がしっかり閉まっているかご確認ください。熱の影響で扉の位置がずれる場合があります。

- ⑦予熱時間の目安は約25分です。温度計で400℃以上の高温でピザがカリッと仕上がります。20分で400℃を超える場合がありますが、ピザストーンが熱くなりきっていないためピザの焼き加減が弱くなりやすいです。400℃を超えてしばらくしてから予熱完了としてください。温度計で500℃近くなると、ピザを焼いてもすぐに焦げてしまいますし、製品に無理がかかります。温度は上げすぎないようにご注意ください。25分予熱しても400℃を超えないとき、扉がしっかり閉まっていないか、燃料が不足していると考えられます。

予熱時間約25分は、燃料にペレットを使用した場合の目安になります。薪を使用した場合、ペレットに比べ時間がかかる傾向があります。炭はピザを焼くために必要な温度まで上がりません。長時間のオープン調理に適しています。

ピザ窯の温度の上げ方については  
右記QRコード先の動画もご参照ください。  
(ホンマ製作所YouTubeチャンネルのリンク)

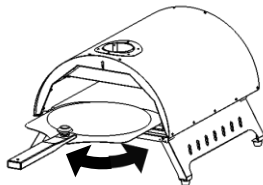


## 7. ピザの焼き方

本製品で焼けるピザの大きさは、最大で約30cm(直径)です。ピザストーンの大きさが33cmになっています。ピザをカリッと焼き上げるため400℃以上で焼くことをおすすめしますが、お好みに合わせて温度、時間を調整してください。下記の方法は400℃以上で焼くときの目安になります。

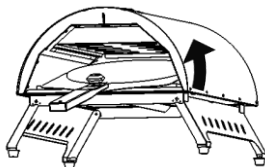
- ①6-使い方を参考に、400℃以上まで予熱を行います。予熱が完了したら燃料箱を引き出し、火炎が弱まっているようであれば燃料を1回分追加します。追加した燃料に着火したことをご確認ください。
- ②ピザをピザピールの上に乗せます。運ぶときは落とさないよう水平に運んでください。扉を開けて、ピザピールを傾けてピザを滑らせ、ピザストーンの上にピザを置きます。ピザピールを抜いたら扉を閉めます。
- ③扉を閉めて約20秒待ちます。ピザ窯は奥の方が早く焼きあがります。扉を開けてピザの焼き加減を確認し、よければピザを1/3回転させて再度ピザ窯の中に入れ、扉を閉めて約10秒待ちます。同じことを繰り返し、扉を閉めて約10秒待ち、扉を開けてピザを取り出し、焼き加減を確認します。炉内の状態、ピザによって焼け具合は変わりますので、好みの焼き加減になるよう時間を調整してください。

ピザを1/3ずつ、2回、回転させて  
全面を焼き上げます。



- ④焼き方が足りない部分は、ピザピールに乗せた状態でパッフルに近づけて焼き加減を調整してください。

ピザがパッフルに接触しないよう注意しながら、右図のように近づけます。  
傾けすぎると、ピザが滑る場合があります  
のでご注意ください。



- ⑤焼きあがりましたら、次の調理を行うための、温度が下がらないよう扉を閉めてください。ピザを1枚焼くことで温度は下がりますので、連続してピザを焼くことはおすすめできません。ピザを焼くのに適した温度まである程度の予熱を行うことをおすすめします。



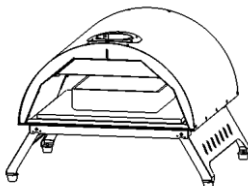
燃焼中に扉を開けると燃料箱付近から煙が出てきます。状況によっては燃料箱周辺から火炎が漏れ出る場合もありますので、ご注意ください。扉を開けるときは、必ず燃料箱を閉めてください。

本製品はピザだけでなく、揚げ物以外の様々な調理を行うことができます。

- ・ピザ以外の調理を行うときもピザストーンを使用して、ストーン上で調理を行ってください。
- ・使用できる容器は耐熱性のある金属製容器、陶器、磁器になります。木製、樹脂製の容器は使用できません。
- ・ピザ窯は奥の方が火力が高くなるため、ピザと同じように向きを変えて焼き加減を調整してください。



使用中は本体、炉内、ピザストーンはもちろんのこと、容器も大変熱くなります。厚手の皮手袋などを使用し、やけどしないようご注意ください。



## 8. ご使用後のお手入れ



ご使用後、しばらくは本製品が熱くなっています。完全に冷めていることを確認してから行ってください。本体から取り出した灰は地面に捨てずに、金属製のバケツなどに入れて密閉保管してください。

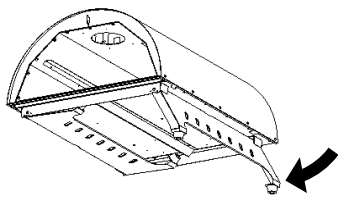
- ・ご使用後はパッフル、ピザストーンを取り出して、パッフル、本体、煙突に付着したススを掃除してください。付着した汚れは固く絞った濡れ布巾で落としてください。
- ・ピザストーンの表面に付着した汚れはヘラなどでそぎ落とし、固く絞った濡れ布巾で掃除してください。使っているうちにピザストーンが多少黒く変色していきますが、使用に問題はありません。水をかけたり、中性洗剤で洗ったりはしないでください。
- ・ピザピールは固く絞った濡れ布巾で掃除してください。汚れが気になる場合、中性洗剤と軟らかいスポンジで洗ってください。

## 9. 片付け方法



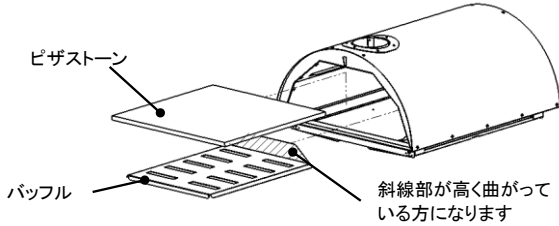
本製品には鋭利な部分がありますので、手袋などを着用して手を保護して作業してください。

- ① 本体から全ての付属品を取り出し、開かれた脚4本を閉じます。

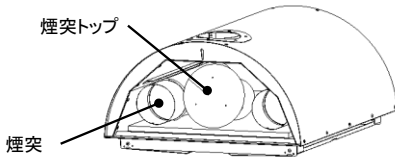




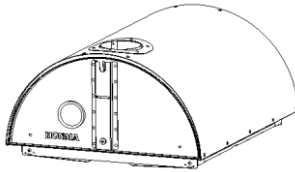
- ②下図のように、バツフルを高く曲がっている方が奥に向くように本体炉内へ入れます。  
次に、山形補強の上にピザストーンを置きます。



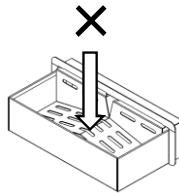
- ③ピザストーンの上に煙突2本、煙突トップを置きます。煙突トップは中央に置きます。



- ④扉把手、燃料箱把手を外します。外したねじはなくさないよう、元のねじ穴に仮締めしておきます。  
外した把手も本体炉内、ピザストーンの上に置きます。



片付け時、燃料箱には目皿以外のものを入れないでください。  
本体の中に入れてたものが引っかかり、燃料箱が取り出せなくなる可能性があります。



- ⑤片付ける際、本製品は雨に当たらず、風通しのよい場所で保管してください。

この製品は行き届いた品質管理のもと生産されておりますが、万一不良品やお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

製造元 **株式会社 ホンマ製作所**

〒950-1237 新潟県新潟市南区北田中801番地8  
TEL 025-362-1235(代) FAX 025-362-1238  
URL <https://www.honma-seisakusyo.co.jp/>  
Eメール [support@honma-seisakusyo.co.jp](mailto:support@honma-seisakusyo.co.jp)